

ご自由にお持ち帰りください

淀川キリスト教病院

よどきり
便り

YODOGAWA CHRISTIAN
HOSPITAL NEWS

45

2025.SPRING

特集 周産期医療

- よどきり健康メモ／人間ドック・健診の助成制度
- ろうけん便り／三線演奏会
- 簡単＆ヘルシーレシピ／簡単さば缶トマトパスタ
- チャプレン室だより
- 登録医紹介／よしかわ内科・外科



宗教法人 在日本南ブレスピテリアンミッション
淀川キリスト教病院
Yodogawa Christian Hospital

全人医療



理念 全人医療

淀川キリスト教病院の全人医療とは、からだと ところと たましいが一体である人間(全人)に
キリストの愛をもって仕える医療です

周産期医療って？

産前から産後まで
妊産婦に寄り添う

陌間 亮一 産婦人科部長（以下、陌間） 当院は早
くから周産期センターを開設し、今では当たり
前になっているNICU（新生児集中治療室）
の早期導入、血液型不適合妊娠の血漿交換、結
合双胎の分離手術の国内2例目など、積極的に
周産期医療に取り組んできました。

清水 智絵 産科看護課長（以下、清水） 産科の
スタッフは、ほとんどが助産師で、正常分娩か
ら医療を要するケースまで対応できる体制で
す。助産外来では、不安を抱えている初産婦
さんや体重のコントロールがうまくいかな
い方など、時間をかけて医師と話すのは難し



産婦人科部長
陌間 亮一
Hazama Ryoichi

いお悩みに助産師がお応えしています。家で
できる運動指導もしているので、助産外来を
利用された方は体力がついてスムーズにお
産できる方が多いんです。

陌間 一般的には無痛分娩、当院では和痛分
娩と呼んでいるお産も行っていて、年間10
00件ほどのお産のうち4分の1は和痛分
娩を希望されています。陣痛が来てから硬膜
外麻酔を開始しますので痛みに苦しむよう
なことはありません。お産後の体力を温存で
きますし、お産の痛みによる恐怖はかなり軽
減されるはずです。少子化が問題となっている



産科看護課長
清水 智絵
Shimizu Chie

今、また出産したいと
いった意欲につながるという意味で、和痛分
娩は一定の役割を担っていると思います。

清水 当院でお産された方には、退院後にお
電話でのフォローアップ（退院後1〜2週
間）をしているのですが、お母さんは眠れな
かったり食事も摂れなかったりとても疲
れてしまって、中には鬱（うつ）になってしまう方も
おられます。そんな方のお手伝いをしたいと
いう思いから、最大6泊までご利用いただけ
る「産後ケア」を始めました。赤ちゃんはお母
さんと一緒にいることもできるし、こちらで
お預かりすることもあります。授乳が上手く
いかない、赤ちゃんが心配で寝るタイミング

がわからないなど、いろん
な悩みの相談に応じた
り練習もしているので、ぜ
ひ利用していただきたい
ですね。

特集 周産期医療

産科・小児科、さらに他科も関わり 総合力で母子を救う周産期医療

当院は大阪府産婦人科診療相互援助システム、新生児診療相互援助システムの基幹病院
であり、地域周産期母子医療センターの役割を担っています。通常分娩だけでなくハイリ
スク分娩、ハイリスク新生児の治療・ケアも行いう産婦人科と小児科の連携や取り組みにつ
いて聞きました。

スピードと手厚さを
兼ね備えた医療

小笠原 宏 小児科副部長（以下、小笠原） 当院で
は小児科の中に新生児チームを設け、NICU
21床、GCU（新生児回復室）15床の体制で大
阪北部の新生児搬送を受け入れています。
小畑 慶輔 小児科副部長（以下、小畑） 赤ちゃん
に疾患があると予想される場合は私たちがお
産に立ち合いますし、予想外の新生児仮死の場
合もすぐに駆けつけます。特に当院は分娩室と

NICUが隣接していて、すぐに治療を開始で
きる利点があります。

小笠原 新生児蘇生は産科の先生や助産師も
初期の対応なら可能ですが、それ以上のことも
私たちがすぐに対応できる体制です。

陌間 赤ちゃんに関わる以上、産婦人科もその
知識は必要だということで、小児科の先生に新
生児蘇生の講習をしてもらっています。リスク
が予想されるケースについては、その後の管理
や方針をあらかじめ立ててもらえるので、お母
さんに事前に伝えておくことができますし、私
たちも迷うことがないですね。

小畑 週に一度の周産期カンファレンスで、基

お母さんには赤ちゃんがどんな治療を受ける
か、どういった経緯をたどるかを説明する機
会をもらっています。赤ちゃんに病気がある
ということで親子関係を築くのにハードルが
できることもあるので、そういったところを
フォローできる場を設けてくださるのはあり
がたいですね。

辻本 千佳 乳児看護課係長（以下、辻本）
NICUやGCUに赤ちゃんが入ると母子分
離になってしまっていて、その間に「自分が早く
産んでしまったから」と自責の念が強くなっ
たりもするので、そういった精神面のケアも
できるよう関わっています。また超未熟児の

礎疾患がある赤ちゃんや
超未熟児として出生され
るリスクのある方々の情
報を共有しています。また



小児科副部長
小笠原 宏
Ogasawara Hiroshi



乳児看護課係長
辻本 千佳
Tsujimoto Chika



小児科副部長
小畑 慶輔
Kohata Keisuke

よどきり健康メモ 人間ドック・健診には助成制度があります



自分の健康は気になるけれど、費用が高そうなので尻込みしてしまいます。

健康管理増進センターで行っている人間ドックや健診にかかる費用には、いろいろな助成制度が使えることがあります。

加入されている〇〇健康保険組合や△△共済組合、全国健康保険協会、◇◇市国民健康保険、業界別国民健康保険組合などがそれぞれ「保健事業」として、人間ドックや健診の費用の助成制度を設けている場合があります。

※助成金額や還付方法につきましては、ご加入の健康保険組合などにおたずねください。

例えば

75歳以上で大阪府の後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方

26,000円を上限に、助成金が支給されます。

詳しくは、大阪府のホームページまたは大阪府後期高齢者医療広域連合給付課(電話:06-4790-2031)まで



ご予約
お問い合わせ

06-6324-6530 (健康管理増進センター)

電話受付時間 月～金曜日 8:30～17:00 / 土曜日(第2・第4) 8:30～12:00



ろうけん便り



施設内レクリエーション「三線演奏会」

今回は当施設で行われているレクリエーションの一つである「三線演奏会」をご紹介します。

三線演奏会は年4回程度開催しており、生演奏で軽快な沖縄音楽を奏でるこの演奏会は、利用者の皆さんに大変人気のあるレクリエーションになっています。演奏を披露してくださるのは、ボランティアで来てくれている沖縄出身の富村さんと老健スタッフ2名(看護師、介護士)です。富村さんは三線の講師をされており、演奏者としても大阪府内数カ所でライブ活動を行っています。そのような三線のプロと日頃からなじみのある看護師、介護士が演奏するため人気が出るのも頷けます。富村さんとスタッフに感謝です。

老人保健施設では、利用者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただけるよう、今後も様々な催しを開催いたします。



淀川キリスト教病院 老人保健施設

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路2-1-41

TEL:06-6815-8222(直通) FAX:06-6815-8188

ホームページ <https://www.ych.or.jp/group/rouken/>



淀川キリスト教病院

NICU (Neonatal Intensive Care Unit: 新生児集中治療室)・周産期医療の歴史

- 1957年 日本でほぼ前例のなかった「血液型不適合児に対する交換輸血」を実施
- 1972年 大阪で最初のペリネータルセンター(産前・産後母子管理センターと呼んでいた)を開設
- 1974年 NICUを設置
- 1975年 日本2例目となるシャム双生児分離手術の成功
- 1976年 交換輸血1,000人目の達成
- 1977年 NMCS(新生児診療相互援助システム)が設置され、当院も基幹病院として参加
母体搬送の受け入れ開始
- 1978年 当時民間病院には少なかった小児外科が設置される
- 1987年 OGCS(産婦人科医療相互援助システム)が設置され、当院も基幹病院として参加
- 2012年 新病院移転
- 2024年 NICU設置50周年

日本でほぼ前例のない治療法で、新生児医療に大きく貢献

1957年、当時日本ではほぼ前例のなかった血液型不適合による新生児重症黄疸に対する交換輸血を実施しました。この治療法は、重症重要黄疸によって重篤な障害に至る新生児を救う治療法として脚光を浴び、日本の医学・医療界に大きく貢献しました。そして当院を中心に、国内だけでなく韓国、台湾に広まりました。

その他、産科と小児科が連携して周産期医療を行う体制や、脳神経外科による水頭症児の手術実施(1960年～)、大阪府内の7つの新生児専門施設が連携した新生児診療相互援助システム(NMCS)の開始(1977年)、当時民間病院には少なかった小児外科の設置(1978年)など、新生児医療の発展に貢献してまいりました。



健康な赤ちゃんに育っていただくために

当時の日本では長きにわたり、出産直後の新生児は産科医が医学管理を行うのが通例でしたが、アメリカでは周産期医療は産科と小児科の連携が一般的だったため、当院ではアメリカ式の「周産期医療」を実践していました。

この産科と小児科の伝統的チームワークを発展させるため、1972年に大阪で初となるペリネータル・センター(産前・産後母子管理センター)を開設しました。そして、新生児用の人工呼吸器の導入(1975年)、看護スタッフ育成のための周産期医学公開講座などを積極的に行いました。

また、日本2例目となるシャム双生児分離手術の成功(1975年)、交換輸血1,000人の達成(1976年)などの話題で全国の注目を集めました。



世代を超えて、YCHベビー

当院で生まれた赤ちゃんを「YCHベビー」と呼び、子どもたちの成長を見守り続けています。そのYCHベビーが、病院創立70周年となる現在、最初のベビーたちが祖父・祖母となる時代を迎えています。

赤ちゃんは「触ると害を及ぼしてしまうかもしれない」と思われることも多いのですが、お母さん・お父さんに、触れられることで赤ちゃんは安心するんですよと声掛けしています。
清水 そういったお母さんに関して、産後ケアを勧めた方がいいか乳児看護課から相談を受けて、事前に情報をいただくこともあります。
辻本 退院を控え、不安が大きくなる方もおられるので、産後ケアをお勧めすることもありますね。

小笠原 当院には小児外科の常勤医がいるので、バックアップ体制が非常にしっかりしています。また例えば先天性気管狭窄症は耳鼻咽喉科が、口唇口蓋裂は形成外科が生まれたときから関わるなど、多くの診療科の協力を得ながら手厚く見守ることができまます。
陌間 出産の高年齢化に比例して基礎疾患をお持ちの妊婦さんが増えてきています。他の診療科との連携で基礎疾患も含めてケアしな

がら安心してお産に臨めるのも、総合病院である当院の強みです。
また重篤な分娩経過をたどる妊婦の頻度は、10年前は222人に一人でしたが、分娩の高年齢化に伴い、141人に一人にまで増加していると、大阪府の最重症妊産婦受入事業報告(2023年度調整)で指摘されています。児も母体も救命する観点から、周産期センターがある当院を含む高次施設で分娩するメ



淀川キリスト教病院は、かかりつけ医と連携しながら診療を行う「地域医療支援病院」です。

よしかわ内科・外科

診療科目／内科、外科

ホームページ <https://yoshikawa-naika-geka.jp> TEL.06-6195-3857



今春3月に開院されたよしかわ内科・外科。吉川吉暁院長は、大学病院や医療センターなど複数の救命救急センターで救急医として経験を積まれました。

―救急医を選択されたのはなぜでしょうか。

「何でも診られる医師になりたい」という強い思いからです。救急医療は医療の原点で、様々な症状や疾患と向き合う中で、幅広い診療能力を身につけることができました。

―その経験がこのたびの開院につながったのですね。

はい。救急医として数多くの重症疾患の方々と診てきた中で、普段から生活習慣病の治療をしっかりしていたら助かった方や、早期発見をしていれば重篤化していなかったと思われる方もいらっしゃいました。そのような経験から予防医学・早期発見の重要性を感じ、より地域に根差した医療を行いたいと思い開院しました。

―診療内容について教えてください。

高血圧や糖尿病などの生活習慣病をはじめとした慢性疾患はもちろん、発熱や胸痛、腹痛などの急性疾患、そしてけがや熱傷などの外科的疾患にも対応いたします。

―メッセージをお願いします。

患者さんの話をしっかり聞き、病状の説明をできる限り丁寧にすることで、ご自身の身体のことを理解して治療に取り組んでいただけるようにしたいと思っています。また、今後は在宅医療も行いたいと考えています。



よしかわ よしあき
吉川 吉暁 院長

趣味・特技

音楽鑑賞、ワイン、茶道、キャンプ



よしかわ内科・外科

〒533-0022
大阪市東淀川区菅原6-1-2
F-Crest Sugahara 1F

アクセス

JRおおさか東線「JR淡路」駅、阪急京都線・千里線「淡路」駅から徒歩5～8分

Topics

～食事の満足度向上のために～

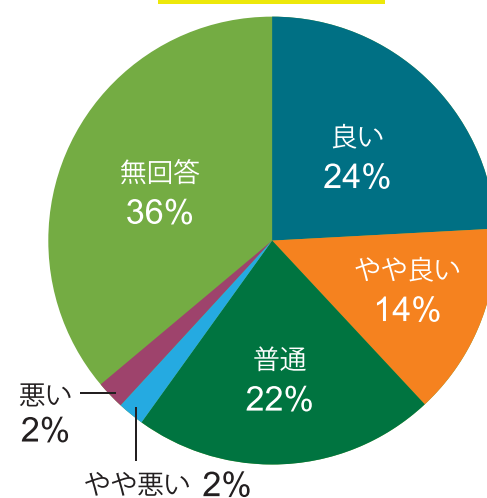
「病院食アンケート」調査結果

固形の食事を召し上がっている入院患者さんを対象に「病院食アンケート」を実施しました。『良い、やや良い』と回答いただいた患者さんは38%でした。

その他のご意見として「物価高の中ありがとうございます」、「満足しています」などの意見も多数頂戴しました。今回、無回答の方が多かったことは、更なる改善の余地があると捉え、今後も患者さんの満足度向上と治療食の質の向上に努めてまいります。

栄養管理課

食事の満足度



包丁いらず！フライパン一つで「簡単さば缶トマトパスタ」

栄養管理課 仲 麻純



トマトは抗酸化作用のあるリコピンが多く含まれます。油と一緒にとることでリコピンの吸収を高める効果が期待できます。さばは動脈硬化や心筋梗塞の予防効果が期待できるEPAやDHAが含まれています。骨までやわらかく加工されているさば缶は、カルシウム摂取にも最適です。包丁を使わないため、お子様と一緒に調理されてみてはいかがでしょうか。

材 料 スパゲティ(乾麺)…200g さば缶…1缶
2人分 トマト缶(カットトマト)…1缶 しめじ…1袋(100g)
水…400cc チューブにんにく…小さじ2
オリーブ油…大さじ1 コンソメ顆粒…小さじ1
塩…小さじ1/4 コショウ…少々 粉チーズ…大さじ2
ドライパセリ…適量



作り方 ①しめじは石づきをとり手でほぐす。
②フライパンにオリーブ油、チューブにんにくを入れ、弱火で香りが出るまで温める。
③②にトマト缶、さば缶(汁ごと)、しめじ、水、コンソメ顆粒を入れ中火にし、木ベラやフォークでさばをくずしながら煮立たせる。
④スパゲティは乾麺のまま入れ、麺をほぐしながら煮詰める。
⑤塩・コショウで味を調えて、最後に粉チーズ、ドライパセリを振りかける。

栄養価

エネルギー…680kcal 炭水化物…86.4g
たんぱく質…37.3g カルシウム…320mg
脂 質…19.9g 食塩相当量…2.3g

COOKING MEMO

スパゲティはほぐしながら煮詰めるようにしてください。塩・コショウはお好みで調整してください。

チャプレン室だより



こんなところにもキリスト教が！ ～知恵のことば編～

日本語の中にはキリスト教由来のことわざや慣用語などの表現があります。日本語でも意外と使われているものがあるので、いくつかご紹介します。まずはイエス様の語られた教えの中から、「**豚に真珠**」(マタイ7:6)これは「人を裁くな」という教えの中で語られた表現で、「価値のわからない者に貴重なものを与えても意味がない」という意味です。「**狭き門より入れ**」(マタイ7:13-14)これは「楽な道ではなく、困難でも正しい道を選びなさい」という

教えで、日本語でも「狭き門をくぐる」という表現があります。「**目から鱗が落ちる**」(使徒9:18)これは伝道者パウロが回心するときに、目の覆いが取れたことから、「急に真実が見えるようになる」という意味で使われます。キリスト教の影響は、日常の言葉にも意外と多く見られますね。

チャプレン室 國安 光

ー医療費でお困りの方へー

無料低額診療

～医療費の減額や免除が受けられる制度です～

こんな時
ご相談
ください！

- ・入院したら収入がなくなる
- ・急な入院で医療費が心配
- ・年金だけでは収入が少ない
- ・非課税世帯で医療費が心配



ご相談の対象となる1ヵ月の収入のめやす(例)

ひとり暮らし	月10～11万円以下
70歳代の夫婦2人暮らし	月16万円程度以下
30歳代の夫婦、小学生、中学生の4人家族	月27万円程度以下
30歳代のひとり親、小学生、幼稚園児の3人家族	月22万円程度以下

相談窓口

1F 総合患者支援センター

固定電話から **0120-364-489**

携帯電話から **0570-003-489** ※ガイダンス後「9」を押す

平日 9:00-17:00 土曜日 9:00-12:00

適用にあたっては、審査をさせていただきます。

経済状況を確認できる書類(給与明細、年金通知書など)のご提出をお願いすることになります。

編集
後記

早いもので、新年度が始まり1ヶ月が経ちました。新しい生活を迎えた方はリズムが少しずつ馴染んできた頃でしょうか。環境に慣れようとつい頑張りすぎてしまったり、気候の変化を感じやすいこの時期は、何かと疲れが溜まりやすいものです。無理せず休息をとり、バランスのよい食事と適度な運動で、これからの季節に向けて体調を整えましょう。

★公式FacebookやInstagramからもさまざまな情報を発信しています。みなさまからの「いいね!」をお待ちしております。



Facebook



Instagram



全人医療

宗教法人 在日本南ブレスピテリアンミッション

淀川キリスト教病院

Yodogawa Christian Hospital

本誌についてのご意見をお待ちしています。「この記事がおもしろかった」「あの部署のことが知りたい」など、読者のみなさまの声を今後の誌面づくりの参考にしてみたいです。ぜひご協力ください。淀川キリスト教病院 広報課 kouhou@ych.or.jp

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-50

TEL:0120-364-489 (固定電話から) TEL:0570-003-489 (携帯電話から)

『よどきり便り』45号(2025年5月発行)発行責任者/笹子 三津留 編集責任者/藤原 寛

※広報誌の写真撮影については、撮影直前にマスクを外す等、細心の注意をはらって撮影を行っています。また一部写真については、過去に撮影した写真やご本人に提供をお願いした写真もございます。